



第7回「ロータリーの友」地区だより（1月号）

新年おめでとうございます。新しい年を迎え半期が終わったという安心感がありますが、地区大会を始めとする重要な行事を控え緊張感もある新年となっています。ともあれ、1月号は「ロータリー理解月間」に因み誕生以来105年を経たロータリーを理解するにふさわしい記事が掲載されています。

是非お目通し頂きたい記事

☆ 横組

- RI会長メッセージ 1頁
ジョン・ケニー会長は次の様に述べておられます。「ロータリーでは1月は年度の折り返し点に当たり、私たち全員が過去と未来の双方を見つめるときです。」そして「自分が仕事を選び、超我の奉仕を実行し続ける皆さんがロータリーの奉仕活動のためにしてくださったこと、現在してくださっていること、そして将来もし続けてくださるであろう奉仕活動に感謝します。」『ロータリーの未来はあなたの手の中に The Future of Rotary is in Your Hands』
- ポール・ハリスの合理的ロータリアニズム 6～13頁
1911年1月に創刊された『The National Rotarian』から転載したロータリーの創始者ポール・ハリスの随筆です。現在職業奉仕をいかに解釈するか、ロータリーにとって一大テーマになっていますが、仕事あるいは商売とロータリーの関係をどう位置づけるか、創始者ポール・ハリスの考えを探る重要な論文です。
- ロータリー広報中！ 14～18頁
和歌山・海南地区ロータリー合同活動写真展 18頁
2640地区が和歌山マリーナシティで開催した写真展の事業をロータリーの友地区委員の私がレポートし、投稿したものが掲載されましたが、お詫び申し上げなければならぬ事があります。と申しますのは、この事業には有田RC・有田南RC・有田2000RCの有田3クラブも御参加・出品頂いていたのです。私のミスで6クラブのみの紹介でメールをロータリーの友事務局へ送ってしまいました。誤りに気づき、すぐ訂正のメールを送ったのですが、間に合わず、残念ながら誤りのまま1月号が印刷されてしまいました。
有田の3クラブの皆様には心からお詫び申し上げます。
- 第38回 ロータリー研究会レポート
ロータリーの未来はあなたの手の中に 19～21頁
2009年11月18日～20日に開催された第38回ロータリー研究会のレポートですが、青少年交換・ポリオ撲滅活動が議論され、職業奉仕と倫理の重要性について多くの出席者から強調され、「ロータリアン一人ひとりが私生活においても、奉仕活動においても、倫理の高い水準をもたなければならない」と結論づけています。
- 新RI長期計画（2010～13年度）について 24～27頁
世界14,000人のロータリアンを対象としたアンケート調査、一般人を含めたグループ座談会等の結果を反映して、2010～2013年度の新長期計画は3つの重点項目に分けて位置づけられる事になりました。即ち、＜クラブのサポートと強化＞＜人道的奉仕の重点的増加＞＜公共イメージと認知度の向上＞です。詳しくは記事を御一読下さい。

☆ 縦組

- 低炭素社会の日本** 国立環境研究所 西岡 秀三 2～6 頁
地球温暖化が大きな問題になっている現在、温室効果ガスを削減するシナリオとして「技術で解決する活気ある社会」と「自然の中で生活するゆとりある社会」をシミュレーションしています。そうした低炭素社会の実現は大きなビジネスチャンスであると説いています。
- 卓話の泉** 12・13 頁
数のお話 橋本 倉渕 信哉
橋本RC例会でのお話と思いますが、数字にまつわる表現や習慣、その組み合わせの由来を教えてくださいの大変興味深い話でした。
- 俳壇** 14・15 頁
「新米の音米びつにひびきけり」 大阪・堺フェニックス 米田 眞理子
- 柳壇** 14・15 頁
「りりりりり 音の歳時記秋の虫」 大阪・堺 伊藤 篤風
「リスボンでファドの旋律聴く夜更け」 大阪金剛 井出 胡蝶
「誉め上手よくぞできたと自画自賛」 大阪・堺 清水 亜稀美
「参観日ビデオカメラの品評会」 大阪・太子 内海 和美
- 言いたい、聞きたい** 16・17 頁
四つの大切なこと 羽衣 北中 登一
仏教での人間の四つの大切なことを説き、それはロータリー哲学そのものであるとし、ロータリアン一人ひとりが世のため人のために尽くす事の尊さを述べています。
- ロータリー・アット・ワーク ROTARY AT WORK 文章編** 28～35 頁
青少年交換学生歓迎バーベキュー大会 羽衣RC
デンマークから来日し、羽衣RCと富田林RCが受け入れている二人の青少年交換学生のお披露目と親睦を兼ねた歓迎バーベキュー大会のレポートです。受入れ校の担任教師、その家族、第一～二ホストファミリー・米山記念奨学生も参加した賑やかなパーティの様子が伝わってきます。
- 地元の中学生に国際交流の場を!** 有田RC
有田市内中学校4校での「豊かな体験活動事業＝日本再発見＝米山奨学生と語ろう」の様子をレポートしています。米山奨学生たちが、自国の文化・習慣・地理・料理等を披露し、生徒たちの外国への好奇心の芽をふくらませ、外国への関心がより高まったと云うレポートです。

「ロータリーの友」地区委員 廣本喜亮 (田辺RC)

E-mail : hiromoto1026@ybb.ne.jp

TEL : 0739-22-0571 FAX : 0739-26-7307